

八雲町ホタテ貝アイヌブランド化業務公募型プロポーザル講評

八雲町の主要水産物である養殖ホタテ貝をブランド化し、付加価値化を図ることを目的とするホタテ貝のアイヌブランド化事業を実施するにあたり、優れた創造力・技術力・経験等を有する事業者を委託先として選定するため本プロポーザルを実施することとし、参加事業者を公募したところ、３事業者から企画提案をいただきました。

告示から企画提案書提出までの短期間にもかかわらず、八雲町の歴史、ホタテ養殖について調査し、課題を整理されたうえで、それぞれ特徴のある独創的なご提案をいただきました。

いただいたご提案は、ホタテの消費に関するデータ収集、緻密な分析、独自調査項目の追加、ブランド名・ロゴマーク・ポスターなどのデザイン案の提示、SNSやAIの活用など、いずれもアイディアにあふれ、戦略性に富んだ提案となっております。

中でも最優秀となった事業者の提案は、市場調査における独自項目の追加、ブランディングプロセス案の提示、ターゲットの明確化など戦略的提案になっていることに加え、有名な商品等のブランディング経験豊富なスタッフを多数配置することによって確実な履行が期待できるなど、総合的に高い評価となりました。

最後に、今回ご提案いただいた参加事業者皆様の熱意と工夫に敬意を表すとともに、ご協力に心より感謝申し上げます。

令和７年７月２５日

八雲町ホタテ貝アイヌブランド化業務プロポーザル審査会

審査員長 八雲町副町長 成 田 耕 治